

# 中部地区鳥獣被害対策情報

第21号 令和7年9月発行  
大分県中部振興局 生産流通部 営農推進班

## サル被害対策の検証を行っています

- ① 臼杵市は高糖度かんしょ「甘太くん」の主要産地の一つで、その栽培面積は年々増加しています。
- ② サルは、イノシシ、シカ用防護柵として一般的なワイヤーメッシュ柵のみの場合は、登ったり網目をくぐったりして侵入するため、被害を防止することは困難で対策に苦慮しています。
- ③ そこで、中部振興局ではサル被害を防止するため、ネットタイプ電気柵の検証を行っています。
- ④ ネットタイプの電気柵は、単独の設置ではイノシシやシカに対する効果は弱いので、通常のワイヤーメッシュ柵とのセットで設置するのが基本になります。

### 【ネットタイプ電気柵の特徴】

- ① ネットタイプ電気柵は、サルがネットを登る際に通電部に触れると、ショックを受けるようになっています。
- ② 従来の電気複合柵（ワイヤーメッシュ柵＋電気柵）よりも低コストなサル用防護柵です。



検証しているネットタイプ電気柵  
(網が赤くなっている箇所が通電部)

お問合せ先：大分県中部振興局

・ 農業被害の調査、対策活動の支援

生産流通部各班

(代表) 097-506-5796

・ 狩猟免許、林業被害対策

農山漁村振興部森林管理班

(直通) 097-506-5749